

口腔全身統合科学特論

Advanced Course of Oro-somatic Integration Science

キーワード

- ① 三叉神経主知覚核
- ② 三叉神経中脳路核
- ③ 帯状回
- ④ 扁桃垂核
- ⑤ 視床下部垂核

授業概要

口腔から脳へ、脳から全身へを理解するためには、単にその経路を理解するだけでは不十分であり、神経科学的、内分泌学的視野を含め、より広い視野を必要とする。この領域に関係した種々の角度からの論文やレビューを提示し、それを読み解くことによって、複眼的視野を育成する。口腔と全身をキーワードに先端的な英語論文を提示、その読解を通じて、世界レベルの研究を理解する。

授業科目の学修目標

口腔全身統合科学を構成する、口腔と脳、高次中枢と末梢神経系、末梢神経系と末梢器官に関わる多数の英語レビュー、英語論文を読破することにより、この領域の国際的な幅広い知識を身につけ、それに基づいた問題の発見、それを解決するための研究を遂行できる能力を身につける。

授業計画

- ① 口腔と脳 10コマ 山本利春
口腔と脳をつなぐ神経経路に関する最近のレビューや論文を提示、内容や問題点を解説する。
- ② 高次中枢と末梢神経系 10コマ 山本利春
高次中枢と末梢神経系を結ぶ神経経路に関する最近のレビューや論文を提示、内容や問題点を解説する。
- ③ 末梢神経系と末梢器官 10コマ 山本利春
高次中枢から末梢器官への経路に関する最近のレビューや論文を提示、内容や問題点を解説する。

教科書および参考書

第3版カールソン神経科学テキスト

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

基本的な神経科学の知識を有していることが望ましい。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 口腔と脳に関わる英語レビュー、英語論文を理解し問題点を指摘できる。
- ② 高次中枢から末梢神経系への経路に関する英語レビュー、英語論文を理解し問題点を指摘できる。
- ③ 神経系及び内分泌系の末梢器官調節機構に関する英語レビュー、英語論文を理解し問題点を指摘できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
0%	30%	40%	30%	0%	0%	0%

評価の要点

- ・小テストは授業計画にある各大項目関連の英語論文の理解度を判定する。10%×3回=30%
- ・レポートは授業計画にある各大項目関連の英語論文の要約を提出する。10%×3回=30%
授業計画の3項目を総合した課題を提出する。10%×1回=10%
- ・成果発表は授業計画にある各大項目に関する英語論文要約のプレゼンテーション能力を判定する。
10%×3回=30%

理想的な達成レベルの目安

口腔全身統合科学特論の理想的な達成レベルは80%とする。